

住民説明会の実施要領

1. 開催日程

日程		開催地	会 場	参加可能人数	ブロック内 他自治体
12/7(月)	夜間	足寄町	足寄町民センター 多目的ホール	150名	本別町、陸別町
12/12(土)	夜間	幕別町	幕別町民会館 2階講堂	75名	池田町
12/13(日)	午後	上士幌町	上士幌町生涯学習センターわか 会議室1・2A・2B	60名	士幌町
	夜間	鹿追町	鹿追町民ホール ホワイトホール	50名	新得町
12/15(火)	夜間	帯広市	とかちプラザ 大集会室	140名	
12/17(木)	午後	豊頃町	える夢館 はるにれホール	100名	浦幌町
12/18(金)	午後	広尾町	広尾町コミュニティセンター 2階大ホール	30名	大樹町、幕別町忠類地区
12/19(土)	午後	芽室町	芽室町中央公民館 2階講堂	100名	清水町
12/20(日)	午後	音更町	共栄コミュニティセンター 大集会室	80名	
	夜間	更別村	更別村社会福祉センター 大ホール	108名	中札内村

2. 当日の流れ

(1) 設営

- ・開催地及びブロック自治体の職員、組合事務局は説明会開始の1時間半前に集合する。
- ・設営は開催地及びブロック自治体、組合事務局で行う。
- ・12月13日、20日については、午後と夜間の2回開催する都合から、組合事務局が設営に間に合わない可能性があるため、その時は開催地及びブロック自治体で設営を開始する。
- ・受付に前日組合から送付する受付名簿を設置する。
- ・受付窓口は2箇所設ける。(帯広会場、音更会場は3箇所)
- ・受付には透明パーテーションもしくはビニールシートを設置する。
- ・会場建物入り口に検温係、手指消毒係を設置し、そこを通過した人だけが受付に行くようルートづくりをする。
- ・会場の都合上、建物入り口に検温係、手指消毒係を設置できない場合は、受付に行く手前のどこかで事前チェックできるように配置する。

- ・受付前や検温、消毒前の地面に足跡マークを養生テープで張り付ける。
- ・受付、検温、消毒の表示を貼る。
- ・会場内はソーシャルディスタンスを確保し、住民席の間隔は2m確保し椅子のみ設置する。
- ・説明会資料（PPT資料と基本構想（原案）概要版）は椅子の上に配布しておく。
- ・会場後方に基本構想（原案）を設置し、希望者は持ち帰ってもらう。
- ・事務局側には司会席、説明員席を固定し透明パーテーションを2個設置する。
（マイク2本）
- ・自治体席に透明パーテーションを1個設置する。（マイク1本）
- ・住民席側には質問者席を固定し透明パーテーションを設置する。（マイク1本）
（とまちプラザなど広い会場は2箇所）
- ・事務局、自治体、司会者、説明員、質問席の紙を各席に貼る。
- ・スクリーン、プロジェクターを設置し調整する。

（2）各係

<受付>

- ・設営終了後、説明会開始30分前には受付に着席。
- ・早めに人が来た時には臨機応変に対応する。
- ・受付1箇所は事前受付者の確認を行い、1箇所は当日受付と事前受付者ともに受ける。
（帯広会場、音更会場は事前受付者2箇所）
- ・受付は氏名、住所などの確認をし、番号に○をつける。
- ・当日受付は、氏名、住所、緊急連絡先を記入してもらう。
- ・説明会開始後は1名常駐する。

<検温・消毒>

- ・設営終了後、説明会開始30分前には検温、消毒場所に着く。
- ・早めに人が来た時には臨機応変に対応する。
- ・検温係、消毒係は、同じ場所で行うので、検温したら続いて消毒する流れで行う。
- ・説明会開始後は1名常駐する。

<誘導員>

- ・誘導員は、検温や消毒を拒否したり、受付を通らず入場しようとするような人がいた場合には、検温、消毒、受付をするように促し、それでも拒否するようであれば退場をさせる。
（コロナ対策で行っているなので毅然とした態度で接してください。）
- ・説明会開始後は1名常駐する。

(3) 必要人員（構成自治体→開催地及びブロック自治体）

- ・受付2名、検温係・消毒係2名、誘導員2名の計6名
- ・組合事務局は6名

(4) 必要備品

<自治体が用意するもの>

- ・透明パーテーション8枚、マイク5本、プロジェクター、スクリーン
- ・消毒液5本、非接触型体温計2～3個、予備マスク

<組合が用意するもの>

- ・予備消毒液2本、予備非接触型体温計2個、予備マスク、予備パーテーション
- ・コロナ対策表示（足跡マーク、検温案内、消毒案内など）

【参考配置図】

